



平成26年6月6日
国土交通省中部地方整備局
木曽川上流河川事務所

養老町・大垣市職員と

災害対策車両の合同操作訓練

を実施します

概要

出水期を目前に控え、木曽川上流河川事務所が保有する災害対策車両について、養老町及び大垣市職員と当事務所職員が合同で操作訓練を実施します。

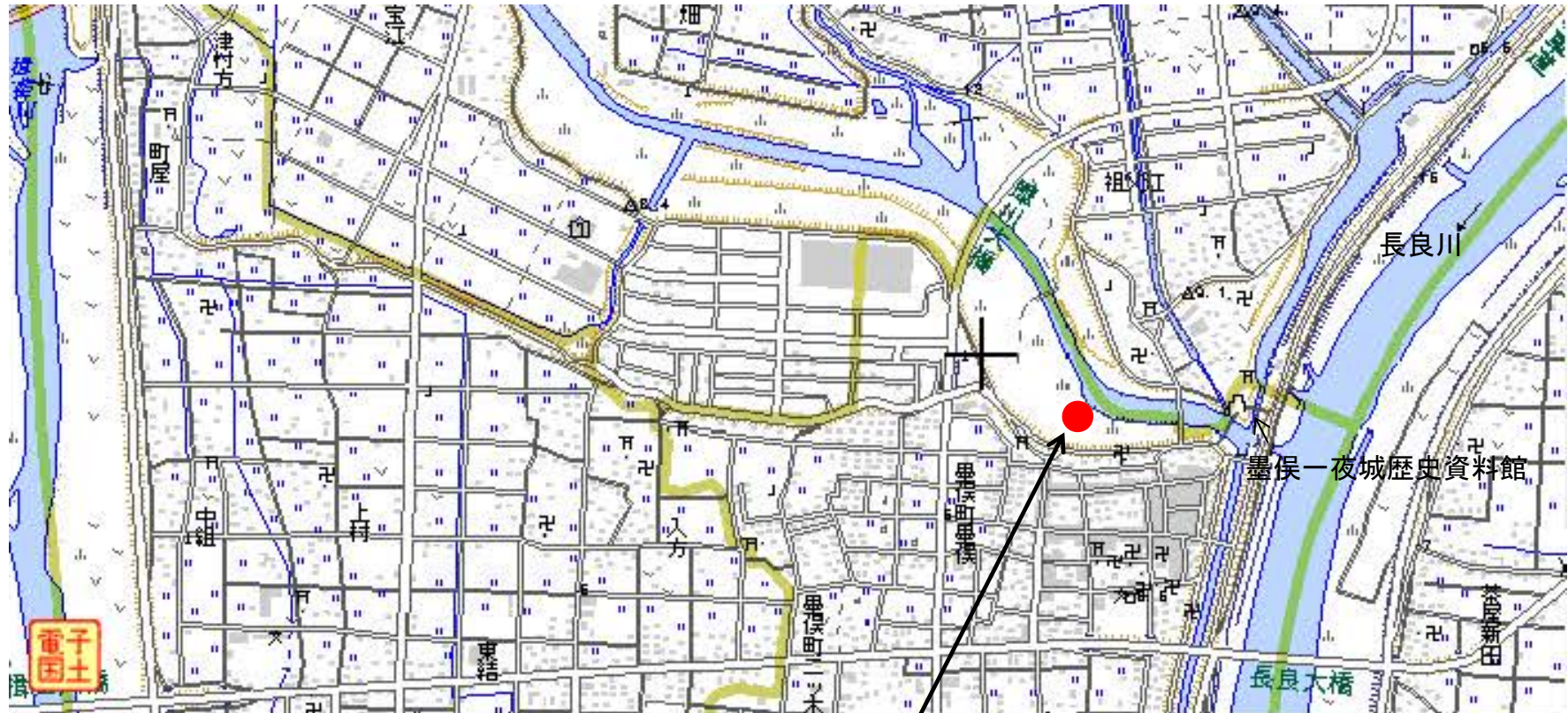
養老町と大垣市には、昨年9月の台風第18号に伴う大雨の際などに、当事務所から地域支援として、それぞれ排水ポンプ車が派遣され、職員同士が現場で共同して対応にあたりました。

今回の訓練は、操作技術の習得・強化による災害対応力の向上、組織間の連携のさらなる推進を目的としています。

1. 開催日時 平成26年6月10日(火)14:00~16:00
2. 開催場所 さい川さくら公園(大垣市墨俣町地内)・・・別紙地図
*取材を希望される場合は、当日会場に直接お越しください。
3. 参加者 養老町職員、大垣市職員、木曽川上流河川事務所職員
4. 車両 対策本部車、排水ポンプ車、照明車・・・別紙資料
5. 解禁 指定なし
6. 配布先 岐阜県政記者クラブ
7. 問合せ先 木曽川上流河川事務所 岐阜市忠節町5-1
TEL058-251-1321(代表)
副 所 長 上野 広志
保 全 対 策 官 岡 智明



別紙 案内図



訓練会場:さい川さくら公園

駐車場 普通車320台(うち身障者スペース2台)中大型車20台

さいがいげんば かつやく

さいがいたいさくしゃりょう

災害現場で活躍する災害対策車両

対策本部車 (たいさくほんぶ車)



げんち たいさく ほんぶ

かつやく

◆ 現地対策本部として活躍

車体を拡幅した時の室内の広さは14畳で、災害現場で会議室や仮眠所として使用できます。

無線機、FAX、TVなどを搭載。シャワー、トイレ、などを装備し、災害現場の対策本部として機能します。2台を連結することができ、さらに広いスペースを確保できます。



排水ポンプ車 (はいすいポンプ車)

◆ 小学校のプールを約10分で空に

やく から

内水はん濫で緊急に排水が必要な時に使用します。

1秒間にドラム缶約2.5本(30m³/分)の排水が可能、小学校のプールを10分ほどで空にすることができます。

1回の給油で約25時間稼働します。



照明車 (しょうめい車)



きんきゅうやかんさぎょう あんぜん こうりつ かくほ

◆ 緊急夜間作業の安全と効率を確保

災害現場で夜間に十分な明るさを確保し、緊急作業の効率を高めるとともに、安全な作業環境を確保します。

明るさは、グラウンドのナイター照明塔1基に相当します。

また、7階建ビルの屋上と同じ高さから現場を照らします。

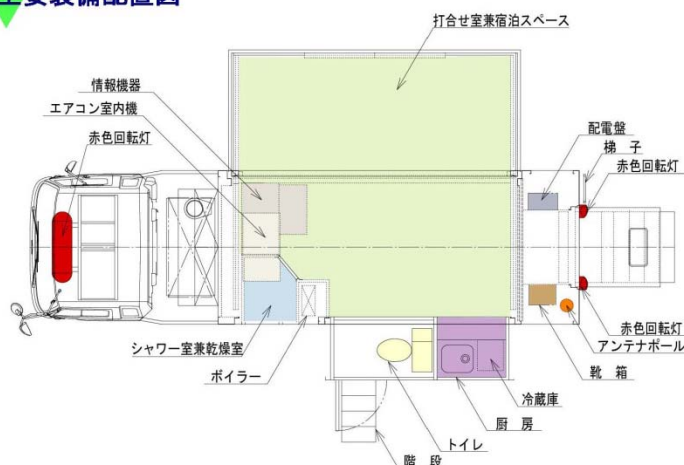


対策本部車

災害現場に出動し現地対策本部として使用します。情報収集、応急対策の指示、情報連絡や広報活動などに活躍します。



主要装備配置図



主な特徴

- トラックのボディは、拡幅構造となっており走行時は普通のトラックの寸法ですが、拡幅時には約2倍、14畳分のスペースを確保できます。2台を連結することができ、さらに広いスペースが確保できます。
- 移動電話装置、FAXなどの通信設備を装備し、対策本部などとの情報連絡をスムーズにできます。
- シャワー室、テレビ、キッチン、冷蔵庫、電子レンジなどを装備し、現地対策本部をバックアップします。

車両の仕様

車体寸法 (全長×全幅×全高)	8.985m×2.47m×3.79m 拡幅時の全幅 5.45m
車両総重量	9,850kg
乗車定員	3名
室内寸法(m)	(L)4.53×(B)5.15×(H)2.35
最低地上高	185mm
使用燃料 (軽油)	車両用燃料タンク150L 灯油(温水ボイラー用)40L
運転免許	中型自動車免許

装備品

通信設備	400MHz帯移動電話、FAX、地デジ・BSTV、衛星電話、インターネット(持込)
生活設備	トイレ、調理台、清水タンク(250L)、汚水タンク(100L)、冷蔵庫、電磁コンロ、電子レンジ、換気扇、シャワー室、給湯、温風乾燥機、仮眠用寝袋、発動発電機、エアコン、会議用テーブル、外部電源入力装置

排水ポンプ車

浸水被害で緊急に排水が必要な時に出動します。
小学校のプールを10分ほどで空にすることができます。



▼ 主な特徴

- 1秒間にドラム缶約2.5本分の排水を行います。
- 排水ポンプの重量は約35kgで、クレーンに頼らず人力で設置することができます。
- トラックに発動発電機・ポンプ・ホースを備えており、全ての作業を排水ポンプ車のみで行うことができます。
- 1回の給油で、約25時間稼働します。

▼ 車両の仕様

車体寸法	8.48m × 2.36m × 2.80m (全長 × 全幅 × 全高)
車両総重量	10,050kg
乗車定員	2名
駆動方式	4輪駆動
使用燃料 (軽油)	車両用燃料タンク100L 発電用燃料タンク250L
運転免許	中型自動車免許
エンジン出力	162kw(220PS)

▼ 排水ポンプの仕様

形式	水中モーターポンプ
台数	4台
口径	Φ200mm
排水量	7.5m ³ /min/台
揚程	10m
重量	35kg/台

照 明 車

夜間の災害現場で十分な明るさを確保し、安全な作業環境を確保するとともに緊急作業の効率を高めます。



▼ 主な特徴

- 2,000Wのメタルハイドランプ6灯を搭載。グラウンドのナイター照明塔1基に相当する明るさを確保します。
- 照明灯の高さは20mで7階建てビルの屋上と同じ高さから照らすことができます。
- 1回の給油で約26時間の照明作業を行うことができます。
- 電源供給車として使用することができます。

▼ 車両の仕様

車体寸法	6.63m×2.06m×3.23m (全長×全幅×全高)
車両総重量	7,840kg
乗車定員	2名
駆動方式	後輪駆動
使用燃料 (軽油)	車両燃料タンク100L 発電用燃料タンク110L
運転免許	中型自動車免許
エンジン出力	114kw(155PS)

▼ 照明装置の仕様

電源設備	発電容量:25kVA 3相 220V 60Hz
照明灯	メタルハイドランプ 2,000W×6灯
最高地上高	20m

平成25年9月15日未明から16日にかけて、台風18号がこの地方に接近しました。

16日の午前8時前に愛知県豊橋市付近に上陸したこの台風は、全国的に大きな被害をもたらしましたが、岐阜県内では、15日1時の降り始めから16日17時までの総降水量が、大垣市上石津で約400mm、関ヶ原で約300mmを観測し、木曽川上流河川事務所管内でも、各所で床上浸水、床下浸水等の被害が発生しました。

それに対し、当事務所では、養老町及び大垣市からの要請を受け、地域支援のために災害対策車両(排水ポンプ車)及び職員を派遣しました。

水位の概要

河川名	観測所名	今回 ^{※1} 最高水位	今回最高水位時間	水防団待機水位	はん濫注意水位	出動水位	避難判断水位	はん濫危険水位	計画高水位	
根尾川	山口	2.64	9/16 10:40	1.50	2.20	2.90	3.20	3.80	5.33	根尾川 山口観測所(本巣市)で、はん濫注意水位を超える
牧田川	烏江	8.39	9/16 9:40	5.00	6.50	7.30	8.00	8.90	9.77	牧田川 烏江観測所(養老町)で、避難判断水位を超える
杭瀬川	塩田橋	6.05	9/16 11:20	4.30	5.10	5.40	5.60	6.20	8.05	杭瀬川 塩田橋観測所(大垣市)で、避難判断水位を超える
	高瀬	7.59	9/16 11:10	4.50	6.50	7.00	7.70	8.60	9.11	杭瀬川 高瀬観測所(大垣市)で、出動水位を超える



9月16日 11時頃
排水ポンプ車の設置状況



9月16日 11時頃
排水ポンプ車の設置状況



9月16日8時頃
排水ポンプ車による排水状況



9月16日7時頃
排水ポンプ車の設置の様子

大谷川洗堰 大垣市綾野町地先
排水ポンプ車(30m³/min) 2台、作業員等 6名
洗堰からの越流に備え現地待機(越流しなかったため、現地待機で終了)

養老町高田地先
排水ポンプ車(30m³/min) 2台、作業員等 4名
9月16日 6時頃から8時間程度、排水活動を実施